

真岡市地域公共交通計画（案）に対するパブリックコメント 意見と市の考え方

No.	ページ	計画内容等	提出された意見提言等の内容	回答	修正の有無
1	P84	施策5-5 高齢者運転免許証 自主返納事業との 連携	免許返納された方の交通手段として一番多い乗り物として自転車 となっていました。 現在、免許返納・車がない人に対してタクシー券(福祉タクシー) を配布していますが、これに加えて電動アシスト自転車購入の補 助金を加えて頂きたいと思えます。 市民に対する現実的で有効な施策と思えます。	真岡市地域公共交通計画としては、高齢 者の交通事故防止と公共交通の利用促進を 図ることを施策に掲げており、車を持た ない高齢者のみの世帯へコミュニティバス (いちごバス・もおかべりー号) 共通回数 券を交付したり、運転免許証の自主返納者 へ共通無料乗車券を交付したりすること で、コミュニティバスやデマンドタクシー の利用促進を図ってまいります。 電動アシスト自転車の購入補助について は、今後の市政運営の参考意見とさせてい たいただきます。	修正なし
2-1	P81	施策2-1 いちごタクシー・ いちごバスの継続 運行と交通事業者 への支援	【1つの意見としてご提出いただきましたが、回答の都合上、7 つに区切って掲載しています。】 現在、真岡市での主な対応は、交通弱者対策ではないかと思われ ます。もちろん交通弱者については大変重要であり今後も必要で ありますが、これからの真岡市の発展には、市長が発言されてい るように、ICT(情報通信技術)活用して、SL人気のある真岡です が、いまだに切符でしか利用できない真岡鐵道の交通系ICカード (suica等)を導入、下館の関東鉄道との連携により首都圏へのア クセス、真岡市と外部連携強化、そして、内側をどうするかでな く、市が発展するためにはどうすればよいかを考えるべき、	ICTの活用による真岡鐵道等の支援に ついては、公共交通利用の利便性向上と運 行の効率化の両立を図ることと併せて、将 来にわたり持続可能な公共交通を確保す るものとして、目標2に掲げています。	修正なし
2-2	P82	施策3-1 周辺自治体等と 連携した広域的な 交通手段の検討	そして、宇都宮市との連携により清原工業団地からLRTの連携に より井頭公園リゾートの利用者の誘致、また市内から井頭公園リ ゾートへの運行、市内から宇都宮へのアクセスも考えられます。 現在は夏休みのプール開設日しかバスの運行がないように思われ ますが、これらについては、朝、昼、夕の3便でもよいと思えます が、人の交流がなければ市の発展はないと思えます。	調査の結果、安定した需要が見込めない ことから、市の公共交通として、宇都宮市 の清原トランジットセンターでLRTと接 続するような路線を新設する考えはありま せん。 その他の「市内から宇都宮市へのアクセ ス」については、既存の民間バス路線の維 持を念頭に、市域を越えた広域的な移動手 段の検討として、計画の中で目標の一つと しています。	修正なし

No.	ページ	計画内容等	提出された意見提言等の内容	回答	修正の有無
2-3	P81	施策1-1 もおかべりー号の 運行内容の最適化	いがしらリゾートの催し物も増えているし、おふろカフェへのリニューアル後も盛況だし自家用車でしか行けないようではおかしいのではないのでしょうか。	いがしらリゾートを含めたルートを行っているもおかべりー号については、目標1の中で、運行内容の見直しを進めるとしています。 なお、高齢者井頭温泉送迎バスとして、地区ごとに無料往復バスも運行しています。	修正なし
2-4	P81	施策1-1 もおかべりー号の 運行内容の最適化	そもそもスタート時期が異なったせいで、市街地循環いちごバス、コミュニティバスもおかべりー号を区別されたが、本来一体で考えるべきものであり、旧市内と旧3村と、二宮町を乗り換えなしで利用することはできないのか。	真岡地区、大内地区、中村地区、山前地区、二宮地区を乗り換えなしで網羅する路線バスは、所要時間を鑑みても、極めて難しいと考えています。 もおかべりー号については、目標1の中で、バスとの接続性を強化し、使いやすく持続可能な運行体系の確立を目指しています。	修正なし
2-5	P81	施策2-1 いちごタクシー・ いちごバスの継続 運行と交通事業者 への支援	また市街地は、病医院、銀行、スーパーを中心に回っているようですが、回らない医院もあるように思いますが、判断の基準はどのようなになっているのでしょうか。また狭い路地まで走っているようなところがあるように思えます。バスであれば大きな通りを中心に路線も再考すべきではないのでしょうか。	市街地を循環するいちごバスが、80を超えるすべての医療機関へ行くことは物理的に困難であり、その機能は、いちごタクシーが果たしていると考えています。 停留所を設置する医療機関を含め、いちごバスの運行経路については、可能な限り住宅地や商業施設、公共施設をカバーできるよう総合的に考慮し、道路管理者や警察の同意のもと、決定しています。 また、運行内容の見直しを随時行いながら継続して運行することを、目標2に盛り込んでいます。	修正なし
2-6	P58		バスの利用者といちごタクシー券の利用についても、タクシー券が余って利用されていないという意見もあるように伺いますが。	いちごバスの利用者は年々増加していますが、それによって老人福祉タクシー等の利用率が減少するといったことはなく、タクシー利用券の交付枚数、利用枚数ともに増加しています。	修正なし
2-7			真岡のことを考えるには、周りの市町村のことも考え、県内で大学等の教育機関のない真岡市は人を集める真岡市を目指して、若い人の集まる真岡市にはいかかがでしょうか。	参考意見とさせていただきます。	修正なし